

公民館だより なかがわ

第525号

令和8年7月31日
発行 中川地区公民館
TEL.Fax : 679-2501

参加者募集

【一般講座】

「秋の寄せ植え教室」

日 時：9月18日（金）

13:30~14:30頃

午後からです！

場 所：中川地区公民館前 駐車場

（雨天時は公民館内）

講 師：佐藤 淳史さん（蘭花園）

持ち物：園芸用手袋、花切はさみ、飲み物、
汚れても良い服装（エプロンなど）

材料費：2,500円（つり銭のないようにお願いします）

対 象：中川地区民

定 員：先着 15名程度

締切日：最終締め切りは、9月8日（火）ですが、
定員になり次第、受付終了します。
お早めにお申込みを!!

※昨年のお花です

毎年好評の教室です。
お花の育て方なども質問できます！

お申込み・お問合せ：
中川地区公民館（☎679-2501）



中川地区シニア1泊研修会

日 時：8月27日（木）～ 8月28日（金）

場 所：宮城県気仙沼方面

対 象：中川地区民

締切日：8月17日（月）



※詳しくは、地区回覧チラシをご覧ください！

中川地区少年少女球技大会 「グラウンド・ゴルフ大会」

日 時：9月12日（土）9:00 集合

場 所：中川地区公民館 広場

対 象：中川地区の小学1年生～6年生

参加料：無料

※詳しくは、小学校配布チラシをご覧ください！



高 齢 者 グラウンド・ゴルフ大会

日 時：9月25日（金）

場 所：永野ふれあい広場

対 象：中川地区民

グラウンド・ゴルフのみの場合は、参加料なし
昼食ありの場合は、参加料 4,000円

※詳しくは、地区回覧チラシをご覧ください。



8月・9月 行事予定



7/31（金）市報、館報、福祉村だより
8/4（火）三者会、会長会、公民館運営協議会
活動交付金交付式
白石上山線建設促進対策協議会
8/7（金）一般講座「大人のピッツァ作り体験教室」
8/18（火）粋いき倶楽部
8/21（金）そば打ち愛好会
8/23（日）中川地区ソフトボール大会
8/24（月）上生居堀切永野開拓線整備促進同盟会総会
8/25（火）パソコンクラブ
8/27（木）～28（金）中川地区シニア1泊研修会
（両日ともに公民館が閉館します）
8/31（月）福祉村運動会全体会議

9/1（火）市報、館報
三者会、森開公総会、会長会
9/8（火）そば打ち愛好会
9/11（金）ウォーキング教室（職員不在時間帯あり）
9/12（土）少年少女球技大会「グラウンド・ゴルフ」
9/18（金）一般講座「秋の寄せ植え教室」（午後）
9/25（金）高齢者グラウンド・ゴルフ大会
粋いき倶楽部（職員不在時間帯あり）
9/29（火）パソコンクラブ

グラウンド・ゴルフ愛好会（月曜日）

8/3、10、17、24、31

詩吟教室（火曜日）

8/4、18、25

ラージピンポン愛好会（木曜日）

8/6、20

スポーツ麻雀愛好会（木曜日）

8/6、20

★★★ 休館日のお知らせ ★★★

8月12日（水）、13日（木）は休館日と
なります。ご不便おかけいたしますが、
よろしくお願いいたします。

中川地区さわやかコンサート！

7月4日(土)公民館主事部主催の「さわやかコンサート」が開催されました。出演は、東北地方を中心に活躍する、サクソフォン、トランペット、ピアノのトリオ「アンサンブルだっちゃ」の皆さんです。1曲目「上を向いて歩こう」から始まり、オリジナル曲やソロ曲など、多彩なプログラムで観客を魅了しました。知っている曲が流れると皆さん一緒に口ずさみ、優しい時間が流れていきました。演奏する楽器を観客にくじで決めてもらう「朝ドラ！イントロクイズ！」では会場が大いに盛り上がりしました。そして、全10曲後のアンコールでは「マツケンサンバ」を演奏！最高潮の盛り上がりの中で幕を閉じました。

3つの楽器が織りなす音色はとでも美しく、心に深く響く素敵な音楽のひとつとなりました。素晴らしい演奏を届けて下さった「アンサンブルだっちゃ」の皆さん、本当にありがとうございました！！



中川地区会長会合同研修会

7月15日(水)～16日(木)、中川地区会長会合同研修会が行われ、14名の参加で福島県会津方面へ行ってきました。初日は、五色沼を經由して会津若松市に向かい、市内の酒造会社の酒蔵を見学した後、江戸時代に整備された宿場町の建物が保存整備されている「大内宿」と、百万年に及ぶ浸食と風化が創り出した奇岩が塔のように連なる「塔のへつり」を訪れました。

2日目は、会津ころり三観音として知られる「公安寺中田観音」「恵隆寺立大観音」「如法寺鳥追観音」を巡りました。三観音を巡拝して御仏の慈悲に縋ると、心に安らぎが宿り、長寿に恵まれ、長病することなく、極楽往生ができると伝えられ、広く人々の信仰を集めてきたとのこと。初日が猛暑日となるなど大変な暑さの中ではありますが、2日間とも天候に恵まれ、有意義な研修会となりました。



中川地区食生活改善推進協議会

笹巻き作り反省会&研修会

今年も第32回笹巻き宅配事業が開催されました。スタートからいろいろトラブルがありましたが、食改とボランティア合わせて16名で笹巻き作りに取り組みしました。今年はボランティアの方が多く参加して下さいのおかげで、スムーズに作業することが出来ました。食改の会員だけではとても大変な作業ですので、皆様のご協力に感謝申し上げます。



7/1(水)～2(木)に笹巻き作り反省会と研修会を兼ねて、遊佐町鳥海温泉遊楽里に行ってきました。情緒あふれる庄内浜の夕陽、地元の美味しい海の幸を堪能し、ゆったり温泉に入って心も身体も癒される研修会でした。

食改に興味のある方、ぜひ私達と一緒に活動してみませんか！！

(文：中川食改会長 山口)

ウォーキング教室

「沼の辺コース」

7月24日(金)第4回ウォーキング教室は「鈴川公園内と沼の辺」を歩いてきました！！梅雨らしい空模様でしたが、深緑の木陰の道をゆっくりと歩いて来ました。散策の途中にある、日月神社に立ち寄り開運招福・家内安全と講師からの説明を聞き、皆さん一斉に「願いが届きますように・・・🙏」とお祈りをして来ました。環境が良い釣り場として知られているところから、釣りを楽しむ方は勿論、お散歩をしている方の憩いの場所となっていました。



防犯功労者表彰おめでとうございます

7月24日(金)、三友エンジニア体育文化センターにて「安全安心なまちづくり上山市民大会」が開催され、中川地区より、高橋 義明さん(泉川)が令和8年度防犯功労者として表彰されました。地区内の犯罪抑止活動にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

第2回 粋いき倶楽部「映画鑑賞と施設見学」

6月26日(金)、第2回粋いき倶楽部「映画鑑賞と施設見学」が開催され、午前中はフォーラム山形で『免許返納!』(館ひろし主演)を鑑賞しました。かつての映画スター70歳の南条弘が、仲間の事故への発言をきっかけに世間から免許返納を迫られドタバタ騒動に巻き込まれるノンストップコメディで、皆さんより「おもしろかったあゝ」との声もあり楽しんでいただけたようです。午後からは、上山市にある「みはらしの丘 上山発電所」の見学でしたが、あいにくの雨でバスの中より太陽電池パネルや制御装置を見て、担当の方より説明していただきました。その後中川地区公民館に戻り、集会室にて発電設備の詳しいお話を聞き理解を深めました。最後に質問にも丁寧に答えていただき、映画とともに充実した一日となりました。



第3回 粋いき倶楽部「昔あそび交流会」

7月10日(金)、中川小学校1・2年生と中川粋いき倶楽部会員による「昔遊び交流会」が中川小学校にて開催されました。子供たちの司会進行で、けん玉、お手玉、コマ回し、おはじきのグループに分かれ、それぞれのコーナーをまわって会員さんたちと一緒に遊びました。教えてもらいながら、できるまでやる!と一生懸命お手玉をしたり、会員さんとおはじきをはじいて遊んだり、けん玉をとて上手に披露してくれた子、お互い教えあいながらいねいにコマの紐を巻いている子・・・みんなそれぞれに楽しんでくれたようです。後半は、折り方、飛ばし方によって遠くまで飛ばすことができる「飛行リング」を作りました。すぐにコツをつかんで上手に飛ばせる子がたくさんいて、子供たちはもちろん会員さんも楽しく飛ばして遊んでくれました。遊びを通してふれあうことで、たくさんの笑顔を見ることができました♪ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



中川地区夏の安全パレード

7月26日(日)「中川地区 夏の安全パレード」が行われ、防犯協会正副支部長、地区防犯担当、消防団第8分団、上山市市民生活課、地区会長会正副会長、警察署の方々に参加していただきました。また、出発式では1日警察官に委託された、中川小学校の児童が堂々と出発宣言をしてくれました。その後、上山市交通安全指導車や消防車等が中川地区全域を周り、安全で安心な中川を願い防犯・交通安全を呼びかけました。1日警察官の6人は、パレード中の呼びかけも担い「自分たちの地域は自分たちで守る」意識を持ち、立派に任務を遂行してくれました。ご協力いただきました関係者の皆様、雨の中ありがとうございました。



お知らせ

【敬老会について】



今年度も、対象者の方に敬老祝い品を贈呈いたします。対象者は数え80歳以上の方となっておりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

なお、敬老祝い品は、9月中旬頃に各地区会から対象者の方へ届けられる予定です。

おらほの中川へ地域の話題シリーズ 第二百十四弾

「昭和考、問わず語り（その66）」

甲石地区 高橋 正之

昭和十六年九月（日米開戦の三ヶ月前）、日本は対米外交交渉で要求が貫徹されない場合は開戦を決意する、と決めますが、その後、交渉を優先しようとする近衛首相と強硬派の東条陸相が対立し、時局は、近衛の辞職、東条への大命降下と進みます。本稿では、近衛の辞意から東条への大命降下の経緯を記述します。

＜九月六日御前会議の状況＞

昭和十六年九月六日、午前十時から正午まで御前会議が開かれた。

出席は、天皇を含め十六人であった。この会議は、結果的に帝国国策要綱第三項（外交交渉により十月上旬頃に至るも、尚ほ我要求を貫徹し得ざる場合に於いては直ちに対米《英蘭》開戦を決意す）に沿って国策が進むようになるのだが、杉山、永野らの統帥部は、天皇の意に沿うように外交の行く末を見守るという言を付け加えた。

天皇は、最後に発言を求め、祖父である明治天皇の御製（自作和歌）を出席者の前で声にして二度も誦んじた。

「四方の海皆はらはらと思ふ世になど波風のたちさわぐらむ」

日露戦争時の御製を二度も口にしたのは異様なことだった。普通は、天皇は御前会議では口を開くことはまったくなかったからだ。天皇は戦争に反対していたのである。

＜近衛と東条の対立＞

駐米大使・野村吉三郎と国務長官・ハルとの会談は、首脳会議をめぐって特別の進展はなかった。アメリカ側は日本に中国から撤兵せよと迫り、それを日本側が拒むというくり返しであった。

日本国内では、近衛首相が何らかの形で撤兵を画策していた。十月十二日、この日は近衛の五十回目の誕生日であった。近衛は東京・荻窪の私邸に東条陸相、及川古志郎海相、豊田貞次郎外相、鈴木貞一企画院総裁を呼んで最終的な話し合いを行った。

結の可能性はある、と東条を説得、東条は、及川海相も加わった三人の説得に次のように反論した。

「外交交渉をまとめる確信があるなら、戦争準備はやめる。しかし確信がなければ、やめるわけにはいかない。外交だけというのは問題がある。これに豊田は、陸軍が駐兵に固執するなら交渉は成り立たない。譲る気がないのか」と外相の立場から説得する。すると東条は、「駐兵は陸軍の生命線であり、決して譲れない」と反論し、「九月六日の御前会議での決定では、十月上旬に外交交渉の目的が立たないときは戦争準備をすると決めたではないか」と声を高くして豊田と近衛を批判した。

（近衛亭会談の二日後である）十四日の閣議では、近衛が「支那撤兵」を懇願の形で東条に伝えた。すると東条は、ますます居丈高になり、「撤兵とは退却のことです。譲歩し尽くす、それが外交というものです。それは降伏というものです。」と発言した。またこうした閣議でも、東条は「九月六日の御前会議の決定を守るべきだ」と声高に論じた。

十四日かその翌日、東条は近衛と最後の会話を交わし、戦争を恐れる近衛に、「人間、一度は清水の舞台から飛び降りるような覚悟が必要だ」と伝えていた。また近衛が戦争は好きな連中であるが、いいといった言を吐いたところ、東条は「これは性格の違いですな」と言って問答をはぐらかした。（保坂正康著「陰謀の日本近現代史」朝日新書より）

＜近衛が辞意、東条に大命降下＞

近衛は、昭和十六年十月十六日、辞意を固め閣僚の辞表を取りまとめ総辞職した。

翌十月十七日午後、内大臣木戸幸一は、後継首相を推薦する重臣会議において、天皇の下命に従い後継首相に開戦派軍人の筆頭東条英機を選んだ。

これに基づき天皇は、東条を宮中に呼び、組閣を命ずるとともに「陸海軍協力せよ」と指示した。

このあと木戸は、東条に対し、対米開戦を十月上旬と決定した九月六日の御前会議にとらわれず、内外情勢を広くふまえて慎重な考察を加うる（「木戸幸一日記」下）ことを伝えた。いわゆる白紙還元（ごじよう・言葉）といわれる指示である。

東条は、二十四時間で組閣を終え、十八日新内閣が誕生した（写真）。東条は、中将の任期を残したまま大將に昇進、陸相を兼務した。さらに治安重視の面から内務相も兼務し、軍と警察を掌握することとなった。

また内閣書記官長に星野直樹、国務相に岸信介を起用するなど満州人脈を重用した。東条内閣に対するアメリカの反応は、極めて厳しかった。国務長官のコーデル・ハルは、「ますます期待がもてなくなつた」（「回顧録」）と述べ、また米陸海軍省は、商船隊に待機命令をだした。（昭和二十二年の全記録）講談社刊より。写真も同じ。）

（次回は、天皇による東条下命の理由、東条の組閣後の取り組みについて記述する予定です。）

